

ゆきんこフェスティバル①

IN うつぐみの郷 →北稜総合センター

活動日時： 2月3日（土）

活動プログラム：

午前	集合・挨拶	おはようございます。今日は京都の北部に行き、雪遊びを楽しむよ。雪合戦に雪だるまづくり、そり滑りなどどんな雪遊びが出来るか楽しみだね。現地に着くまでに、みんなで沢山会話をして、仲を深めよう！！
	着替え・昼食	遊ぶ予定の“うつぐみの郷”には雪があまり残っていないから、更に北に向かい、雪が残っているところに向かうよ。うつぐみで着替えを済ませたら出発だ！！雪遊び場に近付くにつれ、急に雪が増えてきたね。これだけあれば十分楽しめるね。昼食を食べたら、早速雪遊びに行こう。
午後	雪遊び	今年はあまり雪が降らなかった分、これだけ雪があるとテンションが上がるね！！そり滑りが特に人気で、斜面を一気に降りる時にワクワクするね。雪だるまはどのぐらいの高さを作ることが出来るかな？寒さを忘れるほど楽しくて、あっという間に楽しい時間が終わってしまったね。
	豆まき	着替えも終わり、出発前に“豆まき”をするよ。今日は節分だから、年の数だけ豆を食べて、縁側から外に向けて豆をまこう。これで今年はみんなとうつぐみに福がくると間違いなしだね！！
	現地出発 まったねえ	存分に雪遊びを楽しむことが出来たね。今年は暖冬であり雪がない冬だからこそ、今回の経験を大切に、思い出にしてね。また一緒に雪遊びを楽しもうね。



<全体感想>

雪遊びをされる際にいつもメンバー皆さんにお伝えしていることが、【はしゃぎすぎない】事です。雪を目の前にすると、楽しみのリミットを外し、存分に騒がれます。初めは楽しい気持ちがり、雪が靴やウェアの中に入ったり、手袋が染み込んだりして濡れても気にされません。しかし、その楽しさも雪の冷たさには勝てず、15分もしないうちに、「冷たい…」、「寒い…」と訴えられ、そうなってしまうとなかなかモチベーションを上げ直す事が難しくなります。雪を楽しむコツは、『いかに内側を濡らさずに楽しむ』かです。雪でテンションが上がるのは分かりますが、焦らず急がず、ゆっくりじっくり楽しんでいただくよう気持ちを我慢して遊びましょう。(竹中 哲郎)